

爽・創・荘

学校だより
令和5年9月1日
加古川市立両荘中学校

爽やかであること、創造すること、成長することを願って、「爽（そう）・創（そう）・荘（そう）」と名付けました

独立心を重んじる福沢諭吉の教え

今年の夏の甲子園では、慶應高校が優勝しました。部のテーマに「エンジョイ・ベースボール」や自由な髪形でも大きな注目を集め、「強くなるためには、こうでなければならぬ」というこれまでの高校野球の固定観念に新風を吹かせました。ネット上でもいろいろな識者がコメントを寄せていますが、ここでふっと頭をよぎったのは、慶應義塾の創立者であり、現一万円札の肖像にもなっている福沢諭吉のことでした。

福沢諭吉は、明治時代に日本が近代的な国家になっていくために、大きな力を発揮した人です。「学問のすゝめ（すすめ）」の冒頭にある「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」という言葉を、知らない人はいないでしょう。

人は生まれながらにして貴賤の区別はなく、人間の値打ちは、「学んでいるかいないか」であって、その目的は、個人として独立した人間になることであるということです。自分と他人を比べて、人をうらやむのではなく、もっと自分自身が自立し、独立することが大事だと言っているのです。もっとも、当時の諭吉は、日本という国が独立国になるという意味も込めていたようですが。。。。

このような考えから、諭吉は学ぶという意味において、「自由に」「貪欲に」いろいろな勉強をしたそうです。何かに役立つからではなく、自由な勉強というのが実はとても大事で、こうした自由な学びの精神、自主性を重んじた考えが、のちの諭吉が開いた慶應義塾の精神の土台になっています。

さて、「自由な髪形」についてですが、髪形は自由にすれば強くなるというのではなく、部員・選手主体の方針を選んだ結果として、今回の「自由な髪形」があるということです。まさしく「独立心をもつ人間を育てたい」という福沢諭吉の精神は、今も脈々と生きているのでは思います。



トピック 両荘中学校 から 両荘みらい学園へ

7月下旬、新学園の校舎への改修工事のため、職員室・事務室等が同じ校舎の4階に引っ越しをしました。1月には元の1階に戻れる予定となっています。職員室への来室には、生徒はもちろん、保護者、地域の方々、お客様にはご不便をおかけし、申し訳ございません。今しばらく、よろしくお願いいたします。

7・8月のホームページ「両荘エトセトラ」より

全校生で球技大会を楽しみました ～生徒会保健体育委員会主催～ 7月20日

全校生が一堂に会して、球技大会が行われました。暑い日が続く中ですが、小規模校のメリットを活かして、体育館で行うことができました。といっても、熱中症対策には万全を期すため、頻繁な水分補給とエアコンの効いた部屋での長めの休憩を取りました。



同時に2球をつかい、クラス対抗で行うのですが、在籍人数が違うので、保体委員会は、いわゆる王様ドッジのルールを採用していました。学年ハンディ全くなしのガチンコ勝負。大変盛り上がりました。結果は、2年2組が優勝しました。



最後には、縦割り選抜のオール2組 VS 先生チーム。王様ドッジ方式ではなく、先生チームは人数制限なしのハンディあり。。。でしたが、瞬時に負けました。続いて、オール1組 VS 先生チーム。たくさん動員しましたが引き分け。最終、じゃんけんで勝敗を決め、こちらも負けました。全校生が一体となり、楽しめたので、1学期のおわりにとてもよい時間が過ごせました。

私立学校(専門学科・コース)説明会&体験授業会を行いました 8月2日



中学3年生、2年生を対象として、説明会を実施しました。今年は、より生徒が学びを実感できるように、体験授業会もセットで行いました。

「工業」「商業」「福祉」「地域探求」「看護・教育」「スポーツ」の6分野です。説明会では、各校の特色が説明され、生徒たちは真剣な面持ち。きっと自分の未来を重ね合わせながら聞いていたと思います。その後、6つの分野ごとに体験授業が行われました。実験あり、作品作りありで、普段の授業通り、挙手をして発表する姿も見られました。こちらも真剣そのもの。。。普段では味わえない専門的なことがらも多く、進路選択の大切な情報になったに違いありません。短い時間でしたが、充実した時間が過ごせていたようです。